

スポンサー様

JJSF 全日本ジェットスポーツ選手権第6・7戦



開催日

7月25・26日

開催場所

愛知県 蒲郡市

出場クラス

Pro Ski Open

Spark Stock

使用マシン

S4

Spark

結果

Pro Ski Open

第4戦 予選：3位通過

決勝：3位

第5戦 予選：3位通過

決勝：4位

Spark Stock

第2戦 予選：1位通過

決勝：2位

第3戦 予選：2位通過

決勝：2位

先週末の石川県の千里浜にて行われた JJSBA のレースから 1 週間経ち、愛知県は蒲郡にて行われた JJSF の第 6・7 戦に参戦致しました。

先週末のレースや大学での期末試験等が重なり、あまりマシンのテストが今回のレースまでに行えず、レース会場で何度もパーツを交換するなどしてマシンを現地の状況に合わせてセットアップしていく形となりました。また、連日とも気温は 37℃に達し、それでいて会場に吹く風の風向きによって大きなうねりをともなうコースになり、マシン、ライダー共に実力が問われるレース展開となりました。

Pro Ski Open

第 6 戦

予選はインコースの一番イン側でのスタートでした。スタートではタイミング良くアクセルを握っていったものの、いまいちマシンのセッティングが合っていなかったために出遅れてしまいました。1 ブイを 2 番で曲がり、合流ではアウトコースから来た 2 番の選手と並びかけるように曲がっていきました。しかし一瞬のミスからその選手に先行を許し、4 位でホームストレート通過する事となりました。その後は 3 位の選手を追いかけていく展開となりました。4 周目には 3 位の選手のミスコースにより順位を 1 つ上げ、3 位に浮上する事ができ、そのままの順位で予選を終える事となりました。

決勝までにはマシンのセッティングを今一度見つめ直して繰り返しテストを行い、自分の納得がいく状態で決勝のスタートグリッドに並びました。スタート位置はインコースの大外でした。1 度目のスタートはフライングの選手がいた為に仕切り直しとなり、2 回目のスタートでは 1 位の選手と 2 挺身差、2 位の選手と 1 挺身差をつけられた状態で、3 位で 1 ブイを曲がりました。合流ではアウトコースから来たホールショット艇が 3 位となって先行し、自分は 4 位でホームストレートを通過しました。2 周目に入り、チョイスコースで 3 位の選手と逆のコースを選んで走り、合流ではなんとかその選手の前に出る事ができた為、3 位に浮上しました。その後はトップ争いをを行っている 1・2 位の選手を追いかける展開となりました。しかし、4 位の選手を引き離す事は出来るものの、2 位の選手には追いついていくどころか、周回を追うごとに離されて行くという状況になり、マシンのセットアップ不足を痛感しました。それでも必死に追いかけて続け、そのお陰か残り 2 週の段階でミスをして順位を下げた 1 位の選手のすぐ後ろまで近づくことができました。しかし追い抜くことはできず、3 位のままでゴールとなりました。

第 7 戦

予選はインコースの一番外側でのスタートとなりました。スタートのタイミングも良く、インコースの 2 位で合流に向かい、ホームストレートを 3 位で通過する事ができました。3 周目を迎える頃にマシンに不調が表れ始め、マシントラブルによるリタイヤを恐れて気を付けて走行した結果、チョイスコースの合流で 4 位に下がってしまいました。しかし最終

ラップに 3 位の選手をどうにかチョイスコースで抜かし返し、マシントラブルを抱えながらも、どうにか 3 位で予選を通過する事ができました。予選終了後、決勝が始まるギリギリまでマシン修理を行い、どうにか決勝を走れる状態にまでマシンを持っていきました。

決勝ではインコースのイン側から 3 番目でのスタートでした。今回も 1 度目のスタートではフライングを行った選手がいたため、2 度目のスタートで成立しました。今回も昨日同様インコースの 3 位で合流へ向かいました。ホームストレートではアウトコースから来たホールショットの選手を挟み、4 位で通過しました。それからは 3 位の選手を追いかける展開となりましたが、残り 2 週の段階で 3 位の選手に追いつく事ができました。しかし最終ラップまで追い抜くことができず、4 位でのゴールとなってしまいました。

Spark Stock

第 6 戦

予選はアウトコースのイン側から 3 番目でのスタートでした。抜群のタイミングでスタートし、ホールショットを獲得する事ができました。合流でも 1 位で通過する事ができ、その後はミスなく走れたため 1 位でゴールをする事ができました。

決勝はインコースの一番内側でスタートしました。ホールショットは獲れず 1 ブイを 2 位で曲がりました。しかし合流までに 1 位の選手を追い抜くことができ、インコースの 1 位で合流に向かう事ができました。ホームストレートにはアウトからの選手が先行したため、2 位で 2 周目を迎える事となりました。それからは全力で追いかけ続け、残り 3 週の段階で 1 位の選手のミスによりすぐ近くまで追いつきましたが、追い抜くことはできず 2 位でのゴールとなりました。

第 7 戦

予選ではアウトコースの 2 番目でのスタートでした。今回はホールショットが獲れず、アウトコースの 2 位で合流では 3 位になりました。その後は 2 位の選手と 2 位争いとなり、なんとか最終ラップで 2 位に浮上する事ができ、そのまま 2 位でのゴールとなりました。

決勝はアウトコースの一番内側でのスタートでした。1 ブイまで 2 艇でホールショット争いをする形となりましたが、波を越えるタイミングの良さから自分のマシンが前に出て、1 位で合流へと向かいました。しかし合流では今回も 2 位となってしまう 2 周目を迎える事となりました。その後は 1 位の選手と距離を縮める事ができず、努力をしたものの 2 位でのゴールとなってしまいました。

レースを終えての感想

今回のレースは、いくつかトラブルやセットアップ不足がありましたが、大きなマシントラブルはなく、無事にレースを終える事ができました。プロスキークラスにおいては第 2 戦振りでの表彰台獲得となりました。しかし翌日の第 7 戦では 4 位獲得となってしまいそ

れがとても残念であり悔しい結果となってしまいました。正直、現在の状況を客観的に考えれば、今の自分の実力とマシンでは3位が限界です。これは、真摯に受け止めています。この順位以上は運次第となってしまうのが実情です。そのため、第7戦で4位という結果になってしまった事は自分の努力が足りなかった事であり、申し訳ない結果となりました。また、スパークカップでは2戦連続優勝を逃してしまった事も残念でした。

JJSFの全日本選手権は大阪での最終戦を残すのみとなりました。プロスキークラスでは、今一度マシンの体制を整え、今が試練の時だと考え更に良い結果を残せるように自分を追い込み、努力して参りたいと思います。また、スパークカップは、自力での全日本チャンピオン獲得の可能性が残っているため、最後まで諦めず頑張りたいと思います。

スポンサーの皆様喜んでいただけるような結果が残せるよう、サポートして良かったと感じて頂けるよう、精一杯の努力を次のレースまでに行っていきたいと思います。

今後とも変わらぬご支援・ご協力の程宜しくお願い致します。





Racing Sports Club Meien
#15 小原 聡将